



これからの協働的な学びをデザインする

犬山市教育委員会 御中

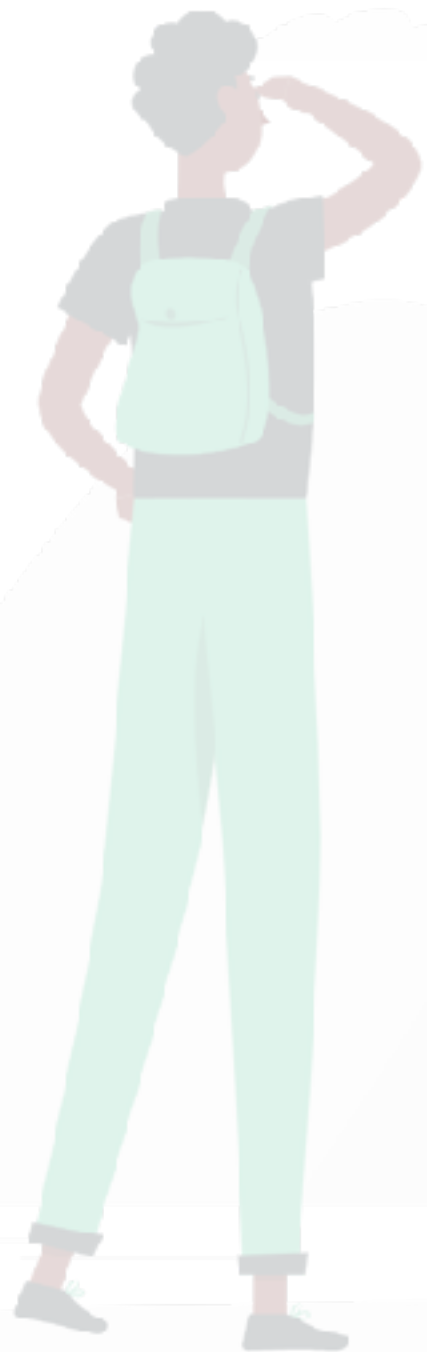
ご提案資料

一般社団法人国際エデュテイメント協会



研修のゴール

- 「協働的な学び」をテーマにこれから考えられる未来の教育についてデザインする
- 実現したい学びのあり方とICTの関係性について学ぶ
- 自分の教師としての目指すべき方向性を明確にする
- 自分の学校へ持ち帰る材料を獲得する



理想の学びデザイン研修（合計：120分）

| 研修内容 | 詳細 | 狙い | 利用するツール | 所要時間 |
|----------------------------|---|---|---|------|
| イントロダクション | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶と簡単な自己紹介 本日の目標を確認 簡単なアイスブレイク | <ul style="list-style-type: none"> 研修者と受講者との信頼関係を築く 本日学ぶ内容の共通認識を持つ 研修に取り組む必要性を確認する | | 10分 |
| 協働的な学びの実践共有 | <ul style="list-style-type: none"> 普段皆さんが実施されている協働的な学びについての事例を共有していく →3~4人グループで話し合う 協働的な学びについての基本理解を行う（インプット） | <ul style="list-style-type: none"> 他の学年,他の学校でどのような取り組みをしているのかを知る | <ul style="list-style-type: none"> Google Classroom Google Docs | 20分 |
| 理想的な協働的な学びのワークショップ | <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを活用しながら、参加者個人個人が考える理想的な協働的な学びの授業を考える | <ul style="list-style-type: none"> 非現実的であっても良い。まずは理想像をイメージしてもらい、ゴールがどこなのかを個々人が認識する | <ul style="list-style-type: none"> Google Docs Google Slides | 40分 |
| 理想的な学びを実現するためにすべきことのアイデア出し | <ul style="list-style-type: none"> 先ほど考えた理想的な協働的な学びを実現するために、なぜ現状それが実現できないのかを共有する 共有した後に、それを乗り越えるためにどのようなことをすれば乗り越えられるのかを考える | <ul style="list-style-type: none"> 現状のICTや授業における課題を認識し、他者にシェアする 実はICTを使えば理想的な学びを実現できるかもしれないという実感を持つ | <ul style="list-style-type: none"> Jamboard | 30分 |
| リフレクション・インプット | <ul style="list-style-type: none"> ここまでのワークショップにおいて気づいたことを振り返る フロー状態について、心理的安全性などについての共有 今日利用したICTの使い方についての振り返り | <ul style="list-style-type: none"> 自分の現在地を知り、未来の学びに向けた期待感を持つ | <ul style="list-style-type: none"> Forms | 10分 |
| 自分の学校に持ち帰り方とクロージング | <ul style="list-style-type: none"> 本研修のフレームワークエッセンスの共有 自分の学校でできることの共有 | <ul style="list-style-type: none"> 本研修をこの場だけでなく、全員の先生に伝える必要性を感じる | | 10分 |